



発行所 東京都立三田高等学校
青葉会
(同) 窓
港区三田1丁目4番46号
電話 (453) 1991 (代)



船

名譽会長
古松 彰

最近、船に凝っている。山ない。重要かつ危険な操作で
國に生れ、海にも船にも縁がある。造船にも興味がある。
無かったが、潜在的なおこが素人の悲しさで、難かしいこ
れがあったのかも知れない。とは良く判らないが、人智を
先年、東京都青少年洋上セミ
ナーのお伴で、グアム・サイ
パンへの船の旅をしたので、さ
らに拍車がかげられた。
乗り心地や、海の景色も柔
しみであるが、運航にも興味
がある。とくに、出入港時の
周到な配置と、微妙な操作は
見れば見るほど面白い。面白
いなどと表現しては申しわけ

管理は機関長かと思つたら、
一等航海士であるという。船
のトリム(釣合)やバラスト
等の関係で、運航と密接に関
連しているという。
船員の配置は、単一ではな
くて何種類もある。限られた
人員で、種々変化する状況に
対応するためには、一人一役
などという優雅なことは出来
ないのであろう。
機械の手入れや備品の点検
も綿密である。
ロープ一本が人命にかかわ
ることもある。
通信機の故障やエンジント
ラブルあるいは見張りの不注
意などには、乗客全員の運命
がかかってくる。
一運托生の境遇からは、良

快晴の秋空もあまり覗かれ
ないま、晩秋の気配が漂う昨
今となりましたが、皆様その
後もお変わりございませんか。
早いもので私どもの「七夕」
11月23日も愈々目前になり、
皆さんの芳顔に接し欲でき
ることを心待ちしております。
「ともがき」第6号をお届け
するに当り、この一年間の青
葉会、会員の動静を報告さし
ていただきました。

に就きましては、ご遺族の方
から「北原」の名称が母校から
消えないよう、生徒の修学奨
励の基金として一千万円也
を堂々とつき進まれることを
心から念じている。
であらうとの結論に達し、こ
の基金管理を同窓会に扱わし
めていたことになった次第
です。それで在校生への披露



奨学奨励の「北原賞」創設

寄贈の申出が学校にありまし
た。学校は公立校としての諸
般の事情から、先生のそのご
遺志に添えるのは教子子の会
である同窓会・青葉会が妥当

の一年
会長 石田 弘

をかね9月1日第二学期始業
式当日、この寄贈式を行いま
した。ご遺族代表には北原三
代子先生の甥に当られる北原
安門先生(昭和27年32年母

校勤務)ご列席。私も同席さ
りして参りました。この運用
については北原先生のご遺志
が十分生かされ、誇り高き三
田高生のシンボルとなること
を祈念して止みません。
11月23日・青葉会、例年通
りてくわしくは別記されてお
りますとおり、皆さんのご期
待をそそぐものにしなさいよ
う役員一同準備のため、一生
懸命、汗を流しております。

上掲写真は九月一日に行な
われた北原奨学奨励基金寄贈
式(右より古松校長、石田
会長、北原安門氏)

場所 母校音楽講堂
行事 (1)総会(会計報告)
(2)懇親会
会費 式千円也(当日受付)



北原三子先生

北原奨学奨励賞創設

北原三子先生ご他界になり、そのご遺族よりご遺産の一部を学
校に寄附(金百万円也)、定時制生徒の勉学に役立てて欲しい旨の
申出があり、協議の結果、諸事情から同窓会(青葉会)がお引き受
けする事になった。会としては、その主旨を帯して、今後の在校生
の奨学奨励のため
「北原賞」
を創設、
勸励の
一恩師北原三子先生ご寄贈

勤労生徒を叱咤激励、社会に貢献できる有為な
生徒の育成に役立てる事になりました。その運
用規約については、学校の方で定められ次第ご報告申し上げます。
北原先生と母校とのご縁 先生は母校の前身、府立第六高女第一
回卒業生で東京女高師お卒業。昭和15年4月着任。戦中戦後の混乱
期を女子教育に尽され、昭和38年3月退職。昭和55年8月ご逝去。

この頃・想うこと

菊池 康夫

された。
いつも、筆の重い私が、本
校の教育方針は、思われた施
設と環境を十分に活用して、
学業にはげ、協調性のある
個性豊かな人間を育成するこ
とに重点をおいている。
また、学校の歩みについて
は、「昭和四年、私立六高女夜
学校として、府立併設最古の
人が環境をつくる」と言い、
また、環境は人をつくるとも
言われている。戦時中の軍隊
教育が、いろ／＼な面で批判
され、問題点の多かったこと
も事実であった。
私の受けた海軍の教育の中
で、今でも私がよかったと思
っているものに「五分前主義」
と「粹でスマート」これぞネ
ービー」がある。私の中で、
未だ徹底はしていないが、一
つの努力目標となっている。
「五分前主義」は、軍艦生活
から必然的に生みだされた鉄
則だと思ふ。船の出帆に乗り
遅れたら、すべて無となる。
時間厳守では足りず、日常生
活の中に、安全率とゆとり。
をみるという習慣形成である。
また、「粹でスマート」が、
海軍士官のモットー。海軍現
であったとは、私も最初は驚
いた。しかし、考えてみれば
これも、日本人として、最も
大切な心構えと思ふ。今とな
っては、熱心な心構えなどは望
むべくもないが、せめてスマー
トでありたいと心掛けている。
こんなことを想いますよう
になったのも、船をとった証
拠かもしれない。

第四回青葉会の集い

◇11月23日卒業生集いの日懐かしい写真スライド映写などもり沢山の企画
当日会則によって総会をも
ちますが、例年そのあとの懇
親パーティがメインで出席
の皆様からご好評をいただき
て居ります。片若しくお考え
にならないで、気楽に母校に
集り、歓談出来る楽しい一日
と思つて下さい。おひとり
参加されても結構ですが、親
しいお友達と誘い合せてお出
で下されば尚一層楽しくなる
と存じます。本年は母校に保
存してある旧制時代からの生
徒写真、校舎の移り変り、現
在までの珍しい写真やスライ
ドにしてご覧いただき、よう
準備して居ります。また例年バ
ザーを開いてお役に立つ品物
をお持帰りいただき、居りま
す。その他新しい企画を凝っ
て居りますので大いに期待し
てお出掛け下さい。
尚、お子さんを近所に預け
て出かけるのが面倒で、なん
ておしやらないで是非ご一
緒にお出かけ下さい。皆さ
んにもご紹介下さい。喜ん
でお待ちしております。
とき 11月23日(水・祭日)
午後1時開会